

新しいまちづくり ほろのべ自律プランを策定します



国・地方ともに巨額な債務残高を有する危機的な財政状況や少子・高齢化の進行という社会情勢の中、市町村合併の推進が図られています。

このような状況の中、幌延町は合併せず、「単独・自立」でいくことを選択しました。

国からの交付税や補助金の削減は、幌延町のよいうな小規模自治体にとって益々厳しいものとなっていていくことが予想されます。こうした中で「自律」を選択した以上、今までの行財政運営では、この荒波を乗り切ることはできないと考えます。この荒波を「ほろのべ丸」が

航海し続けるには、住民の皆さんと行政の協働でのまちづくりが必要です。

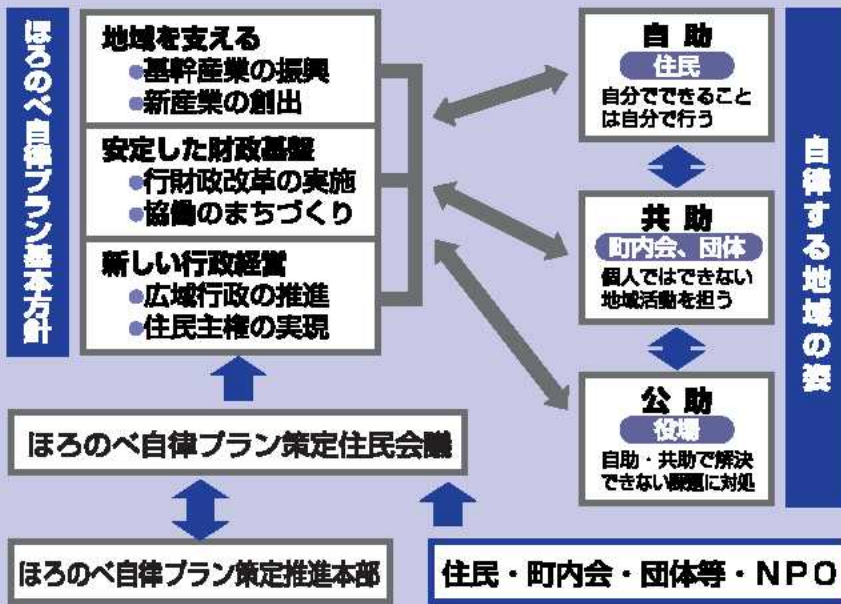
協働とは？

自分で出来ることは自分で（自助）、地域や職場で出来ることは地域や職場で（共助）、自助や共助で出来ない、大きな単位については行政が行なう（公助）という枠組みが効率的に機能することが協働です。

これからのまちづくりは、この三者がそれぞれに役割分担をし、協力しあって進めていくことが不可欠なのです。

ほろのべ自律プラン策定概念図(案案)

まちづくりの基本理念 「小さくとも、キラリと輝き続けるまちづくり」



自立と自律

町では自律プランという言葉を使っています。自立とは、他の助けや支配なしに自分ひとりの力で物事を行なうこと。独立という意味です。一方、自律は、他からの助力を受けず、自分の行動を自分の立てた規律に従って正しく規制することあります。

幌延町が合併をせず、単独で行く選択をした以上、自分たちの力で自分たちの身の丈にあった町政を進める必要があります。外部からの押し付けではなく、自分たちの規律に従って判断、行動する気概を持ち、自助努力を行うという意味で、自律という言葉を使用しています。